



2011年12月報

Vol. 434

12月1日発行

主 題	2011 - 2012 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際	
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田恵子
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む To walk together, echoing each other	部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)
	“ContributetotheCommunitythroughActiveServiceswithLove”	
々 副 題	理想を目指して変革と行動	
	“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”	
アジア地域主題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」	
スローガン	“Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」	
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」	



阪和部EMC主査 大谷美佐子

昨年の今頃 河内クラブに「阪和部EMC主査の依頼」がありました。最終結果、私が引き受けることになり、どの様にしたらよいのやら戸惑い本当に悩みました。先輩の方々に色々とお話を伺い、そして背中を押していただき仕方なく一歩を踏み出しました。

遙か遠い昔、小学校の卒業サイン帳に先生が書いて下さった文章を思い出しました。

「歩く前に考える 歩きながら考える 歩いてから考える」あなたはどうしますか！と、その場その時での必要性もあるかとは思いますが取りあえず「自分の思いを伝えようそして動こう(歩こう) 私には実績も、何のとりえも無い 動いているうちに何かが見えてくる 何かを感じるだろうと」

この半期間に阪和部のクラブ例会に訪問しました。(一部残されていますが) 例会を計画通りキッチリと進められるクラブ、また少数であることの利点を上手に生かし例会の中でのティータイム、各クラブの特色を生かしてのゲストスピーカーの工夫も楽しいものでした。もう一度聞きたい、もっと多くの人に聞いて欲しいと思われるブログ(次頁へ)

[今月の聖句] ローマ信徒への手紙 12章15節

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」



イエス・キリストの誕生。それは人間の生き方を具体的に示されるために、神が人の形をとって現れたことを意味します。この聖句はクリスマスの本質的なメッセージです

【12月クリスマス例会プログラム】 ●

日時：12月4日(日) 16:00~19:00

会場：サンホーム 1階 & 2階

第1部 「例会」 司会：尾北昇君

開会点鐘：会長・横田恵子さん

ワイズソング：— 同

聖句朗読：新本英二君

ゲスト・ビジターご紹介 司会者

会長の時間：会長・横田恵子さん

インフォメーション 当該者

誕生日お祝い：会長・横田恵子さん

閉会点鐘：副会長・宮本桂子さん

第2部 「礼拝」 司会：尾北昇君

讃美歌・奨励 小阪教会 中西真二 牧師

第3部 「クリスマス会」 司会：畠平剛志君

ロビー展表彰、食前感謝、乾杯、スタッフ・リーダー

紹介、交流会、サプライズ、オークション

YMCAの歌：— 同

クロージング メッセージ 新本英二君

(前頁から) ラムもたくさんありました。他クラブを訪問しつくづく感じたことは「動かなければ友に近づけない」「Look World」と日頃伊藤メンが提言されている事がわかりました。動く事で友が増え知識が

広がる。普通の主婦には考えられない事です。最初はしづしづの歩みでしたが今は与えられた主査の役務で勉強させて戴いています。現在を感謝しながら物事を常にプラス思考に考えられたらと願うばかりです。

11 月 例 会 報 告

報告：宮本桂子

日時：11月17日（木） 18：30～20：45

会場：サンホーム 6階

- 出席者： メン 伊藤圭介、岩坂正雄、大谷美佐子、尾北昇、加藤寿枝、佐古至弘、新本英二、正野忠之、田中惟介、藤井敬子、中野義彦、丸尾欽造、宮本桂子、望月強、芳澤伸之、横田憲子
- メネット 伊藤玲子、大藪暢子、中野涌子、丸尾初子、望月治子、初田真佐子
- ビジター 今井利子(大阪なかのしま)、松岡虔一(大阪サウス)、小路修(大阪泉北)
- ゲスト 金参禮(白神多加)、坂井正子、鈴木えみ、玉城龍一(カレーリーダー)、石室綾子(チロル)リーダー)

以上30名

11月の例会は、芳澤メンの司会により定刻に始まりました。横田会長による開会点鐘、全員によるワイズソング、岩坂メンによる聖句朗読、ゲスト、ビジター紹介と続きます。会長の時間では、六甲YMCAのおせちの案内、来月のクリスマス例会のお手伝いの依頼がありました。また、「11月末に東YMCAのリーダーが仙台に災害援助で行かれるのだが、1名につき2万円の資金が必要で、メネットがバザーの売り上げより5名分の資金を提供されたが、まだ5名分の資金が必要なので、支援をお願いします。」と述べられました。その後、岩坂メンのお祈りを得て、食事に続きます。

インフォメーション

小路メン(泉北クラブ)：阪和部新年合同例会、泉北クラブ30周年記念例会、堺市障がい者作品展へ是非来て下さい 横田会長：クリスマスツリーに飾るチェーンに平和の祈りの言葉を書いて下さい 大谷メン：入会につながる活動をお願いします。西日本区大会参加のお礼と当日のDVDが送られて来ました 岩坂メン：今年春、韓国チェジュクラブより頂いた義援金を資金にして、チャンサインキャンプを行ったので、その報告書を韓国語に翻訳して送りました。ロシアのおゼルククラブからロシアの伝統の教会等の写真が送られてきて、写真展で飾られています。

伊藤：メネット会より、小阪教会を皮切りに、手作り品を販売し東北支援金を集めますので、協力して下さい。佐古メン：小阪教会で11月23日1時からイベントがあるので、参加して下さい。伊藤メン：土佐堀YMCAでクリスマスロビーコンサートがあるので参加してください

い。 芳澤メン：12月はクリスマス例会ですので、お手伝いをお願いします。参加もお願いします。

ゲストスピーチ

今月のゲストは、白神多加さんと、東YMCAリーダーの2組です。

白神多加さん テーマは「オモニは64歳の高校生」です。



在日コリアンでしたので、進学などは考えられず、15歳から働きましたが、人種差別がありましたので、人一倍働かないと認めてもらえませんでした。ですから、学校に行くという感覚もありませんでしたが、64歳で高校に行きたいという気持ちが湧き、そこで、布施定時制高校に行きました。学習内容は、全日制と同じなので、大変難しく、息子に教わって勉強しましたが、持ち前の負けん気で頑張りました。高校卒業後、秋葉秀則さんの講演会に参加した事がきっかけで、本を出す事になりました。在日コリアンが苦勞して生活していた事を知ってもらいたいと思っています。在日コリアンは韓国語を話してはいけないと言われていたので、韓国語が分からなかったのですが、日本人が韓国プームで韓国語を話されているので、自分も今、勉強しています。と、とてもエネルギッシュなお話を聞かせて頂きました。

東YMCAリーダー テーマは「東北被災地活動報告」です。

玉城龍一リーダーより・・・行く前は、「瓦礫の撤去」をしないと行けないと言う風に思っていたのですが、実際に行くと、それよりも「心のケア」が必要である事が分かりました。子供達に聞くと「家に帰りたい」という気持ちが強いようでした。大阪から行っているの、知らない人と言う事で、悩みなどの話をしやすいのでは？と東北のYMCAの人に言われて、そういった活動をしました。体験した人にしか分からない気持ちを、吐き出す場が必要だと思いました。

(次頁に続く)



東北で震災被災者支援活動に参加された玉城龍一さんと石室綾子さんの両リーダーをお迎えした横田恵子会長(左端)と温かく見守って下さる東YMCA所長の鈴木えみさん(右端)

(前頁から続く)

を
石室綾子リーダーより・・・東北に行って、YMCAのつながりを強く感じました。どこに行ってもすぐに役に立つ事が出来るのは、大阪のリーダーは、研修制が手厚いからだ8と感じました。被災地に行くと、場所により状況が違っていき、全て片付けられて何も無いところがあったり、瓦礫がそのままになっているところがあったり、本当に日本でこんな事があったのか・・・と思いました。と、大変な中で活躍されて来られた報告をして頂きました。その後、誕生祝い、ニコニコアワー、YMCAの歌と進み、予定の時間を少し過ぎて11月の例会は終了しました。11月のニコニコは、1万8500円でした。

第37期 11月役員会 議事録

書記 芳澤伸之

日時 2011年11月24日(木)19:00~21:00

場所 東YMCA

出席者 横田恵子、大谷美佐子、宮本桂子、望月 強
芳澤伸之、藤井敬子、丸尾欽造、伊藤圭介
中野義彦、佐古至弘、正野忠之、畠平剛志

12月例会 12月4日(日) 16:00~19:00

サンホーム

第1部・第2部例会 2階

クリスマス会 1階

司会:尾北君・畠平君、聖句朗読:新本君

食事手配:横田・藤井・芳澤君、食前感謝:

松岡様、受付:田中君・藤井君・宮本君

1月号ブリテン原稿

12月例会報告:中野 義彦君

役員会報告:芳澤 伸之君

Yニュース:鈴木えみさん

サンホームニュース:尾北 昇君

巻頭言:横田 恵子さん

原稿締切は 12月22日目途とする

審議事項 ・ 報告・連絡事項

1. 《審議事項》
2. 1.12月クリスマス例会準備
詳細に役割分担を決め14:30より準備を始める。
リーダーたちとの交流を深める。
2. 2.オークション提供と落札の報告の件
今回のブリテンより落札者の名前は出さない又、整理番号を有効に利用する。
3. 3.次々期理事より依頼の件
次々期Yサ主任に正野君が推薦される。承認
4. 4.新年合同例会でのかくし芸依頼の件
12月役員会にて決定する
5. 5.1月例会での役員選挙とスピーチの件
新役員の抱負と現事業委員の中間報告の場とする
6. 6.2月一泊研修会の件
研修会プロジェクト委員長、畠平君・・・2月4日(土)
候補とする。次回役員会時の継続審議事項とする。
7. “家庭でできる復興支援”の件
ベルマーク収集の件、審議未了
8. ライトハウス献金の件
例年通り1万円の献金、議決

《連絡・報告事項》

1. “EMC2000推進チーム”の選任
正野 忠之君(H25年6月末日まで)
2. メネット会手作り作品の販売の件
小阪教会及び高槻フリーマーケットにて販売する
3. 泉北クラブ周年記念 2012年6月23日(土)
4. クリスマス街頭募金実施日
12月3日(土)10:00~12:00・・・近鉄八尾駅
12月3日(土)16:00~18:00・・・JR徳庵駅
12月8日(木)12:00~14:00・・・近鉄布施駅
12月9日(金)16:00~18:00・・・近鉄河内小阪駅
12月11日(日)16:00~18:00・・・近鉄八戸ノ里駅
5. 12月役員会 12月15日(木)
6. 第二例会 ブリテン発送
12月22日(木)を目途とする
7. なごみ 11月26日(土)
8. メネット会よりペンギン折は今期で終了

以上



今年は48点の作品が出展され、初めてIBCのオゼルキクラブ(ロシア区)からも友情出展をいただきました。出展料はすべて「東日本区震災被災者支援活動」のために献金されます。ご高覧をお待ちしています。



世界YMCA / YMCA 合同祈禱週 2011

影響を与える声
若者は権利と正義を呼び求める -

関西韓国YMCA / 大阪YMCA / 大阪YMCA 合同祈禱会

「世界YMCA・YMCA 合同祈禱週 2011」を迎えるにあたり、11月10日大阪YMCAで開かれた「関西韓国YMCA・大阪YMCA・大阪YMCA 合同祈禱週集会」に出席しました。70名程の方が集まって来られたのでしょうか、それぞれ教会に属される方々が多い中でも、初めてこうした祈禱会に参加された方もおられましたが一つの繋がりに結ばれ清々しい思いがしました。

第1部の「祈りのとき」は、土井直彦さん(清教学園高等学校宗教主事)が信仰への距離感を感じさせない柔和な温かさでいくつかの「対話」の場をもたらせて下さいました。そのひとつに、讃美として、「主の祈り」を西インド諸島のカリプソによる唱和を体験しました。遠く離れた彼の地での信仰のエネルギのようなものをそのリズムに感じることができました。また、讃美歌「サント・サント・サント」を牧口望さん、遠藤通寛さんのギター伴奏で何度も何度も歌いました。「讃美」「願い・嘆願」「感謝」「告白・悔い改め・懺悔」「執り成し」「静聴」について、ひとりひとりの思いを小さな紙片に書いてそれぞれのボードに貼りつけました。「願い・嘆願」には最も多くのメモが貼られていましたが、世界の平和や祖国統一のことばが多くみられました。私は「悔い改め」に、一つの錆びついた思いを書きました。こうした集会では、ややもすれば与えられたものを受けて終わることが多いと思うのですが、先にも書きましたように一方通行ではなく自然と「対話」させていただいたそんな印象に深く浸ることができました。席上献金として寄せられた43690円は、東日本大震災外国人被災者支援プログラムに捧げられると伝えられました。

第二部の「交流会」では、ご準備くださった軽食を頂いた後、「各Yからの贈りもの」として素敵な歌唱や腹話術をご披露下さいました。関西韓国Yからは、篠崎常幸さん、篠崎周子さんご夫妻の声楽による讃美歌、大阪Yからは、IHS講師のマリオ・ベレッズ(テノール)さんとピアノ伴奏・脇山幹士さん(大阪音楽大学講師)による、「アルルの女」のアリアやヘンデル?やイタリア曲などが演奏され

ました。祈禱会に相応しい「贈り物」に感動し、生の美声が全身に浸り込んでゆきました。また、大阪YMCAの鄭登美子さんの腹話術は巧みな話術で会場を和やかに包んで下さいました。彼女は視覚障害をおもちですがとても前向きな姿勢で勇気を与えて下さいました。ご挨拶をさせていただいて小阪教会に信仰の場をもっておられることを知りました。当然のごとく、佐古至弘さんのことに話題が及びました。東大阪市にお住まいとのことですので、このご縁を大切にしたいと思っております。

東YMCAからは、鈴木えみ所長と新本英二さんをご参加されておりました。若者が呼び求めている権利や正義に姿勢を合わせることの大切さを覚えさせられた祈りのひとときを与えられ感謝いたしております。 報告：丸尾欽造

サンホーム ニュース



特別養護老人ホーム外出行事

堺：ハーベストの丘へ

11月6日(日)に入居者7名ご家族6名が参加されました。現地では、ヤギ・ブタ・羊などの餌やりや羊の追い込みショーなど、普段することのできない動物との触れ合いができました。



デイサービス外出行事

神戸：須磨海浜水族館へ

11月13日(日)に20名のデイサービス利用者のご家族が楽しまれました。水族館ではたくさんの珍しい魚やイルカのショーを観覧していただきました。

<<温故知新>> ④

本格的なYMCAづくりへ

■ 活動委員会の組織化

昭和49年(1974)5月、「東大阪地域活動研究委員会」が組織された。これは、前述の答申を受けて、今後の東大阪での地域活動のあり方を研究し、東大阪地域における総合的なYMCA活動展開のための具体案を立案することを目的として組織された。

委員には、生地幸男、三好 博、恵美奈博光、白石定一、安藤 格、出来成人、伊藤圭介の7名が委嘱された。

しかし、この委員会はさらに同年10月、実際に東大阪における地域活動を推進運営していくための「東大阪地域活動委員会」となり、委員には、伊藤圭介、鳥居 清、生地幸男、安藤 格、白石定一の5名が委嘱され、伊藤圭介が委員長となった。

この年、中央、東両体育館におけるオープンプログラムとして、一般フィットネス・アワー、母親の会の積極的な協力(主催)によるクリスマス・バザーを開催、また中高生クラブも設けられ、会員数は533名となり、順調な伸びをみせ、昭和50年度を迎えた。

昭和50年(1975)3月1日より専任主事(主任主事)として仙波 漸が南YMCAより派遣され、一段とスタッフ体制が強化され、ボランティア・リーダーも30名となり、会員も600名を突破した。

また、新事務所を同年4月に近鉄奈良線八戸ノ里駅北側の近鉄グランドマンションの1階に移転、事務所機能の他に、ロビー、集会室を確保した。そして従来にも増して東大阪市その他の公共団体、施設などと協力、市民ぐるみの活動を展開することになり、5月には市社会福祉協議会主催の子供会にも参加協力し、歌の指導やマジッククラブ(南YMCA所属)の出演などに協力した。

■ ワイズメンズクラブの誕生

この年には、YMCA活動を支援するワイズメンズクラブを設立する動きが起こり、大阪サウスクラブ(会長・恵美奈博光)がスポンサークラブとなって、4月22日に設立準備委員会、5月27日に発起人会、7月3日に第1回仮例会、9月3日に仮役員会を開き、9月18日に設立総会を開催した。出席者はメンバー31名、ゲスト10名で初代会長に白石定一氏が就任した。尚、国際協会加盟認証状伝達式(チャーターナイト)は、11月23日に挙行され、ここにYMCAの支援母体として、大阪河内イズメンズクラブが誕生した。チャーターメンバーは下記の32名である。年齢別の構成は、30代・15名、40代・12名、50代・3名、60代・2名であった。

また、職業別の分類では、製造業・商業・サービス業・司法書士・教職員・郵政・など幅広い職域からの参加を得た。翌年には、2名が退会、新たに3名の入会を得た。現在(2011年)、チャーターメンバー6名が、なおその活動を継承している。

■ 東大阪YMCA発展計画の立案

昭和52年、大阪南YMCAでは、「東大阪市域におけるYMCAのあり方を再検討して、将来への展望を明らかにする」ことが具体的な課題となり、昭和52年度南YMCA事業方針にその作業が明記され、スタッフの研究チーム「東大阪展望スタッフ研究会」(岩坂正雄、仙波 漸、川村勇二、瀬川健三、辻本修次)が4月に組織され、研究に着手した。この研究会メモ(1977・4・27)によると、基本方針として「昨年発生した痛ましい事故を覚えつつ、5年間の歩みを経て、東大阪の活動がこの地に定着したことを評価し、この5年間の歩みを総括して長期的展望をたてる作業に取り組む」と記されている。このプロジェクトチームの課題は、「東大阪YMCAが将来どのような条件のもとに成立し得るか、特に会館、施設との関わりにおいて、スタッフとしての見通しをたてる。

当面の作業として

- ①発足時の構想、いきさつから現在までの経過の分析
- ②他YMCAに関するケース・スタディ
- ③地域調査
- ④5年間の歩みの整理
- ⑤現状分析

であった。

昭和53年(1978)1月に至り、南YMCA運営委員会は昭和53年度南YMCA事業方針の中で、「東大阪活動の長期展望・・・東大阪地域のYMCA活動のあり方についての意見を広く吸収し、今後の展望について3ヶ年計画を立案する」また、事業活動の強調点として、「現行の東大阪事業活動の質的向上と量的拡大を図り、積極的な広報活動を展開して全体的な3ヶ年計画に対応していく」と定めた。

また東大阪活動委員会においても、同年2月23日、上記方針に基づき東大阪の具体的活動の方針を協議し、次の通り、東大阪YMCAの事業方針を定めた。

- 1) 日常活動は従来通りの基本方針を進めるが、プログラム内容の工夫を進めるとともに予算面での自立を目指して受入れ体制を充実する。
- 2) 将来の計画に備えて、広告に限らずプログラムを通じて広く地域にYMCAをPRする。
- 3) 指導者のレベルアップを図るため、オリエンテーション、トレーニングをさらに強化する。また地域の人的資源の発見に努める。
- 4) 将来構想をたてるための3ヶ年計画に着手する。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽

次回は、スポーツ広場誕生、青少年センターの建設について掲載いたします。

安藤 二郎	井田 雄一	伊藤 圭介	岩佐 圭祐	岩崎 靖璋	岩本 弘	緒方 国夫	川口 昭義
川本 恵一	佐古 至弘	里見 博	白石 定一	清水 亀三夫	新本 英二	仙波 漸	田中 弘
東田 幸男	鳥井 清	中島 一郎	中野 義彦	中山 英信	橋本 隆	初田 稔	前川 瑞夫
松田 直久	松村 恵史	増石 広之	丸尾 欽造	満中 節郎	望月 強	和田林 繁好	吉川 博治

安政元年の大津波に学ぶ 「稲むらの火の館」探訪

阪和部 ウエルネス・ウォーク

正野 忠之

日差しが強い快晴の11月13日、横田会長とともに、阪和部ウエルネス・ウォークに参加してきました。これは地域奉仕・環境事業と和歌山紀の川クラブの合同開催によるもので、例会ゲストスピーチを機に、和歌山県有田市にある江戸時代の南海大地震における防災ゆかりの施設、「稲むらの火の館」を訪れ、津波から逃れた場所とされる神社まで歩こうという和歌山紀の川クラブの企画を、遠藤事業主查が阪和部のみなんで分かち合いましょうという趣旨で部の事業承認を受けて実現したものです。「稲むらの火」に関する説明は別掲の通りですが、ここで津波のすごさを3D映像などで体感し、その場所から



参加者みんなが津波を学び記念撮影しました
数キロの神社までを歩くことで、得体の知れない津波の恐ろしさを感じたように思います。一度、行かれてみてはいかがでしょう。

「稲むらの火」とは

安政元年（1854年）紀伊国広村（現在の和歌山県広川町）で起きた故事。安政南海地震が起こったとき村の高台に住む浜口梧陵は海水が沖合へ引いていくのを見て津波の来襲に気づき、自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明で火をつけた。火事と見て消火のために高台に集まった村人たちの眼下で津波は猛威をふるう。梧陵の機転と犠牲的精神によって村人たちはみな津波から守られた。しかし、津波により村には大きな爪あとが残り、この変わり果てた光景を目にした梧陵は、故郷の復興のために身を粉にして働き、被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具等の提供をはじめ、各方面において復旧作業にあたりました。また、津波から村を守るために、長さ600メートル、高さ5メートルの防潮堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。

響き合い、ともに歩む

阪和部新年合同例会



主役はあんた！
観客もあんた！

日時：平成24年1月9日（月・祝）
受付 3：30
開会 4：00 閉会 6：30
会場：南YMCA 会費：3000円
美味しい夕食と飲み物をお楽しみ
ください

久しぶりの各クラブのみんな知ってる芸と
かくし芸の競演があるとのこと

ホストクラブ：大阪泉北クラブ

わいあい One Day 小阪教会バザ メネット会が手芸品を販売 東北支援活動のリーダーを支える資金作り



河内クラブメネット会は、11月23日、東大阪市の小阪教会で開かれた「わいあいOne Day バザー」にメネット手作りの手芸品販売する場を提供いただいた。これは、東YMCAリーダーたちが東北で展開する震災被災者支援活動を支えるための資金作りを目的とするもので、年間を通じてあらゆる機会を捉えて企画しているプログラムの一環です。南天の枝に乗っている縁起物「庚申猿」や「エプロン」、洗濯はさみを包みこんだ「猫ピンチ」、ペットボトルのキャップで作った「マイ針山」、ティシュペーパーのボックスカバーなど心をこめて作った作品はご来場くださった皆さんの好評をいただき、売上は予想以上の19300円になってみんなで大喜びでした。奉仕者は、伊藤玲子、初田真佐子、藤井敬子、横田憲子、丸尾初子、佐古至弘、丸尾欽造のみなさんの他、横田ファミリーのみなさんも応援くださいました。万歳！！

11月例会の余韻

ニコニコ語録集



鈴木えみ：久しぶりに例会に出ました。オモニのお話を聞いてパワーを頂きました。このパワーを仙台に向けて発揮していきたいと思います。玉城龍一（カレーライス リーダー）：初めて参加致しました。すごく勉強になりました。有り難うございました。石室綾子（チロル リーダー）：初めて参加致しました。こんなに沢山の人が居られるのでビックリしました。ワイズの皆さまには何時も応援を頂き感謝いたします。又この様な機会があれば参加をしたいです。正野忠之：白神さんが目を見て話されるので会話されるような雰囲気でお話を聞きました。リーダーの皆さんが被災地に行き、それを皆で共有して、大学やマーケットで物を売ってお金を集めて被災地支援に行かれる。海外に行かなくても、この経験をやる事で、これも「ルックワールド」です。

大藪暢子：お話有り難うございます、韓国本土には行った事がありますが、済州島で唐辛子の辛い系の食べ物も食られる様になりました。本土に行って違う美味しい食べに行きたいです。リーダーの方々も体に気をつけて良い経験を積んで下さい。大谷美佐子：座っておられるお姿は物静かですが、パワーがあって皆さまを引きつける力があって感心しました。私もそのような力を持ちたいと思います。韓国の時代劇が好きで、最近になりその時代の線と点が繋がりはじめました。衣装も綺麗ですね。リーダーの皆さんはバスで12時間かけて行かれます、十分気をつけて行って下さい。鈴木えみさんも気をつけて行って下さい。田中惟介：四中学の出身です。懐かしく思いました。私のクラスメイトにも数人韓国系の人います。何人かは北朝鮮に帰国し消息不明。私の父が100歳を迎え、野田総理から金杯を頂いた。望月 強：同級生をスピーカーに推薦しましたが、内心ドキドキしていました。初恋では無いのですが、皆さんに受け入れてもらえるか心配でした。白神さんの話をしっかりと聞いて頂き感謝と安堵の気持ちです。中野義彦：私は生野の小学校で育ちましたので幾人もの在日韓国人を知っています。子供心にも苦労されているのは知っていましたが、今日お話を聞いて改めて理解することが出来ました。尾北 昇：高校生の時、同級生で在日韓国人の人がいた。彼は男前でサッカーの選手でもあり、同級生からも信頼を受けていた。その彼がホームルームで告白するように自分は在日韓国人で韓国名をいって、悩みを話しました。私も12月中旬になると思いますが、仙台・盛岡に行く予定です。リーダーは子供支援が主ですが、私は高齢者を対象としたプログラムで仮設住宅に住むお年寄りの支援を考えています。大阪YMCAが全面的に支援するとすれば皆さんにご協力頂く事になると思います。その節は宜しくお願いします。佐古至弘：私は小学校・中学校と在日韓国人と友達だったので、白神さんの話はよく理解できた。布施高校定時制に2005年頃に夜間給食のお世話をした。その頃120食ぐらい作っていた。年配の方も5～6人おられその中に白神さんも居られたかも知れません。これからの人生楽しんでください。リーダーの仙台に行かれる応援を我々はバザー等で応援します。

岩坂正雄：クラブで国際交流を担当しています。韓流ブームが分かりますが河内クラブも興味を持っている人も多く、

昨年は済州島に参りましたが今度は白神さんを代表として本土ツアーを企画して楽しい旅が出来ればと思います。リーダー諸君は鈴木姉やの言うことをよく聞き楽しい奉仕活動に励んでください。

新本英二：今日は面白い例会になりました。オモニ（お母）は64歳の高校生の話と若い衆のリーダが東北へ行って得がたい経験をされましたお話。両方共良かったです。年末に向かってYMCAの募金活動が始まります。街頭に立って募金活動に協力下さい。松岡虔一：本を購入しました、茶を挟んであるところを開けると写真がありました。女優さんかと思いましたが若い時の貴方ですね。望月さんがドキドキする気持ちがわかりました。その頃に貴方に会いたかった。今井利子：私は不公平が嫌いでしたのでそのようなことは無かったですが、当事者になればご苦労なされたと思います。これからの人生を明るく楽しく暮らして下さい。又ワイズメンを覚えていただき時々遊びに来てください。神戸の震災の時は何度も重い荷物を持ち足を運びました。東北は行けませんが、既に街頭募金に20回以上立ちました、市役所の支援物資の仕事のお手伝いもしている。アジア協会でも三陸地方に炊き出しのお手伝いに行っています。末永く忘れず応援をしてゆきます。小路修：3～4年の間は例会訪問をしていませんでした、久しぶりに河内クラブに来た。白神さんのパワーに思わず引き込まれ聞き入りました。河内は元気に頑張っているなど実感した。本日ロビー展の締切日だったので持参した。1月の阪和部の新年合同祝会にクラブを結集して参加下さい。又6月はクラブの祝会ですので来て下さい。芳澤伸之：韓国は大好きで40回以上訪問している。20数年前に韓国の学生運動のとき催涙弾が足に当たり救急車で運ばれたことがある。玉城君、石室様、貴重な体験の話ありがとう。横田憲子：白神さんのご兄弟の方が日本人と結婚しているとお聞きしました。私は鶴橋に住んでいますので、そのような方々を存じていますが、自分の両親も結婚に反対され、行き場のない苦労をされた話を聞きました。これからは楽しい人生を歩んで下さい。リーダーの皆さんボランティアを通じて成長することは、ワイズにとっても喜びです。そしてその事を次に繋げる事がYMCAの願いでもあります。これからもご活躍して下さい。白神多加：私の話を熱心に聞いて頂きありがとうございました。私も皆さんからパワーを頂きました、これを糧に益々元気に頑張りたいと思います。坂井正子：お付きにただけですが、皆さんが白神さんの話を興味深く聞いて頂き有り難うございます。伊藤玲子：メネット会長の私にパワーがあると言われましたが今日の白神先生のパワーを頂き、このパワーを皆さんにお分けしてパワーアップに繋げましょう。リーダーの方もご苦労さんでした、次に行かれる方も気をつけて行ってらっしゃい。我々も応援しています。

東Y「クリスマス街頭募金」に参加しましょう

12月3日 10:00～12:00

近鉄・八尾駅前

12月3日 16:00～18:00

JR・徳庵駅前

12月8日 12:00～14:00

近鉄・布施駅前

12月9日 16:00～18:00

近鉄・河内小阪駅前

12月11日 16:00～18:00

近鉄・八戸ノ里駅前



今月の強調月間メッセージ

12月 「 EMC-M 」

親睦のエネルギーを放出し、
限りない奉仕をしよう。
西日本区 2000 名に向かって大きく前進！！

大岩英人 EMC 事業主任

12月クリスマス例会・準備要項

ボランティアリーダーやスタッフ・職員の方々の日ごろのお働きを讃えて歓迎いたします。

記

日時：2011年12月4日(日) 14:30 集合です
(尚、当日10時から同じ会場で東Yのクリスマス会があり、模擬店、ゲーム大会、ツリー作り、喫茶・餃子コーナー、各種教室などが出店します。あわせてご参加ください)

集合場所：東YMCA「サンホーム」

準備担当：A班 → 2階第一例会会場設営
B班 → オークション受付、仕訳、実施
C班 → 1階クリスマス例会会場設営
メネット → 1階食事配膳
望月、藤井、宮本 → 1階受付準備と受付
大谷 → ロビー表彰準備と表彰

第1部「例会」16:00～2階 第2部「礼拝」16:30～2階 ■第3部「クリスマス会」17:00～1階

オークションの献品をご持参下さい

オークションの献品2点～3点に、ブリテン送付封筒に同封のシールに必要事項をご記入・添付の上お持ちください。ゲスト参加予定者は、東Y・サンホームスタッフ 約30名、ユースリーダー は、ありんこ、チロル、キャス、はち、ピータン、ゆず、なみへい、カレーライス、れんこん、チーター、うみへいの各リーダー11名が出席予定です。

Happy Birthday

12月25日 横田允宏さん

(山羊座)



第37期 2011/2012年 クラブ役員

会長・横田憲子	Yサ・ASF・田中惟介
副会長・宮本桂子	地域奉仕・佐古至弘
直前会長・大谷美佐子	EMC ・望月 強
書記・望月 強	ファンド・新本英二
芳澤伸之	交 流・岩坂正雄
会計・田中惟介	広 報・伊藤圭介
藤井敬子	メネット・伊藤玲子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・新本英二

会員数	21名
(特別メネット会員数)	1名
11月例会 会員出席者数	16名
メイクアップ	1名
11月の出席率	80.0%
ゲスト・ビジター出席数	8名
メネット・コメント出席数	6名
11月例会出席者総数	30名
11月役員会出席者数	12名
11月延べ出席者数	42名
11月ニコニコファンド	18,500円
ニコニコファンド 今期累計	84,215円

2011 12 Des. >> 2012 1 Jan. スケジュール

- 12月 1日(木) ・第二例会(ブリテン発送は不定)
- 12月 3日(土) ・クリスマス街頭募金
10:00～12:00 近鉄八尾駅前
16:00～18:00 徳庵駅前
- 12月 4日(日) ・第一例会・「クリスマスを祝う」
々 ロビー表彰式
場所：東YMCAサンホーム
16:00～19:30
・東YMCA・桃の里YMCA
クリスマス会 10:00～
場所：東YMCAサンホーム
- 12月 8日(木) ・クリスマス街頭募金
12:00～14:00 布施駅前
- 12月 9日(金) ・クリスマス街頭募金
16:00～18:00 小阪駅前
- 12月 11日(日) ・クリスマス街頭募金
16:00～18:00 八戸ノ里駅前
- 12月 15日(木) ・クラブ役員会 19:00～21:00
- 12月 18日(日) ・居酒屋「なごみ」 14:00～
- 12月 22日(木) ・第二例会 ブリテン発送
- 1月 8日(日) ・西日本区次期役員研修会初日
- 1月 9日(月・祝) ・阪和部新年合同例会
「主役はあんた観客もあんた」
場所：大阪南YMCA
時間：16:00～18:30
会費：¥3000
・西日本区次期役員研修会2日目
- 1月 19日(木) ・第一例会
18:30～20:30
東YMCA 6階
- 1月 26日(木) ・クラブ役員会
19:00～21:00
東YMCA 6階

発行者：横田憲子 編集者：丸尾欽造

HP : <http://kawachi-ys.org/>